人工肛門造設術を受けられる(　　)さんへ

入院時に持参してください。

説明日(　/　)　説明者氏名(　　)　STP6200110（部分）

月日(日時)	(　/　)	(　/　)		(　/　)	(　/　)	(　/　～　/　)	(　/　)
経過(病日等)	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	**手術当日(手術後)**	術後1日目	術後2日目	術後3～5日目	術後6日目～退院日
達成目標	◇手術前の検査、処置の必要性が理解できる ◇精神的・身体的に手術に臨む準備ができる		◇深部静脈血栓症が起きない ◇血圧・脈拍・呼吸が安定している ◇ストーマに問題がない ◇術後合併症がおこらない(出血・腸閉塞・感染)			◇食事の摂取方法について理解できる	【退院基準】 ◇排便コントロールができる ◇退院について不安がない ◇日常生活の注意点について理解できる (体調に応じ退院日が決定します)
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置	内服薬がある方は薬をお預かりします 手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします 医師が人工肛門を造る位置の最終確認を確認します	昼から手術の患者さんは点滴を開始します 麻酔科医の指示で起床時に薬を内服する場合があります 弾力ストッキングをはきます 手術着に着替えます	点滴があります 酸素マスクをしています → 呼吸状態に問題がなければ、術後3時間で除去します 心電図をつけます	内服している薬がある方は医師の指示で薬を再開します 問題がなければ除去します	食事が進むと点滴が徐々に減ります 歩行ができれば脱ぎます		
検査	血液検査があります		胸のレントゲンがあります	定期的に腹部のレントゲンと血液検査があります			
活動・安静度	病院内自由です		ベッド上で安静です 寝返りは出来ます	看護師と一緒に歩く練習をします	病棟内や渡り廊下などを歩行しましょう		
安全	ナースコール・ベッド柵を設置します 運動靴の使用をお願いします			初回歩行時はふらつくことがあるため注意してください 安静の制限はありません			
食事	絶食です 水分は摂ることが出来ます	水分も食事もとることができません		翌日から水分を取る事ができます	レントゲンで問題なければ栄養補助飲料から開始し、翌日より全粥、以降徐々に形態が上がります。)		
清潔	シャワーで体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい		体拭きをします		状態に応じてシャワーに入れます	
排泄			尿の管が入ってきます	尿の管を抜きます 便は人工門より出ます			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについて説明します 人工肛門について説明します 医師から手術についての説明があります 手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください。また全ての物にフルネームで名前を記入して下さい。 麻酔科医の診察があります(月曜日が手術の方は金曜日か当日に診察があります)手術室看護師の訪問がります 薬剤師による薬の確認がありますので持参して下さい 家族の連絡先を確認します	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなど手術室に行く前に必ずはずして下さい。(貴重品は必ずご家族に預けてください。) 手術中、家族の方は携帯電話を所持し4階の家族控え室、または院内で待機して下さい。	**手術が終わったら元の病棟へ戻ります** 手術が終わり次第、電話でご連絡致しますので、家族の方は面会されてください 主治医からの説明があります **痛みがあるときは痛み止めを使用したり、体位調整を行います** ・呼吸訓練を行い、痰をしっかり出して肺を広げ肺炎を予防しましょう ・深部静脈血栓症予防のため、足の運動を行いましょう	人工肛門の管理方法について説明があります。 交換方法を練習していきます。 (ご家族に協力いただくこともあります) 合併症予防のため痛み止めを使用しながら散歩する時間を増やしていきましょう			看護師から退院後の生活について説明があります(排便・食事・日常生活の注意点・ストーマ物品の注文方法など)※別紙パンフレットあり 次回の外来受診日について、医師より説明がありますので必ずご確認ください。 薬剤師より退院処方の説明があります
	退院後の生活の不安や支援の必要性があるときは担当のソーシャルワーカー(　　)がお話を伺い、必要時転院・退院まで介入を行っていきます						

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

久留米大学病院　胃・大腸外科　西棟10階病棟
令和6年9月作成